ら・ぽ～と(rapport)とは「信頼・調和・話し合う」という意味です。

ら・ぽ～と

県政報告 vol.10

2022年（令和4年）7月25日

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
http://sugita-shigemi.com

埼玉県議会議員 北第5区（熊谷市）
杉田しげみ

自民党

県行政を熊谷へ分散移転

【令和４年度所属委員会】常任委員会…総務県民生活委員会（副委員長）／特別委員会…経済・雇用対策特別委員会

県議会6月定例会報告

原油価格・物価高騰に対する経済支援として

補正予算 第1号・第2号 27億4,975万1千円

県議会6月定例会は6月17日から7月7日にかけて開催され、一般会計補正予算【第1号・第2号】あわせて27億4,975万1千円を議決しました。

補正予算の主な内容は、ウクライナ情勢や円安の影響を受けている生活者や事業者を支援するため、国による「コロナ禍における『原油価格・物価高騰等総合緊急対策』」に基づくもので、県として緊急に対応すべき事業として生活者への支援（5億495万6千円）と事業者に対する支援（9億6,932万9千円）が大きな柱となっています。また、当面緊急に対すべき事業に加え、脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資を促進するための予算（11億3,056万6千円）が盛り込まれました。

原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援

県内地域公共交通事業者への支援 4億2,880万円

概要
県内の乗合バス及びタクシー事業者の運行継続を支援するため、燃料費高騰の影響分を補助する。

補助対象等
- 補助対象：乗合バス 2,400台　タクシー 5,900台
- 対象期間：令和4年4月から9月まで

県内中小企業等の資金繰りへの支援 7,000万円（債務負担行為 限度額 7億円）

概要
原油・原材料価格の高騰に対応するため、経営安定資金（知事指定業種）の緊急融資枠を拡大する。
- 融資枠：100億円 → 300億円
- 融資利率：0.6～0.8%
- 融資限度額：運転資金 8,000万円

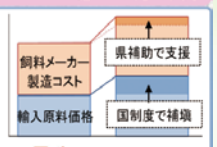
県内観光関連事業者（貸切バス・旅行事業者）への支援 2億9,306万5千円

貸切バス事業者に対する経営支援
- 補助対象：貸切バス 1,800台
- 補助額：15万円/台

旅行事業者のバスツアー造成に対する補助
- 補助額：日帰り 5万円/旅行商品
  宿泊（県内） 10万円/旅行商品
  宿泊（県外） 5万円/旅行商品

県内畜産農家への支援 1億 745万2千円

概要
県内畜産農家の経営支援のため、配合飼料価格のうち飼料メーカーの製造コスト上昇分の一部について補助する。



- 補助額：配合飼料購入量 500円/トン

降ひょう被害への緊急対策として

補正予算 第3号 8億7,450万8千円

6月2日および3日の降ひょうは県内において大きな被害を及ぼしました。私たち自民党県議団は被害の実態の把握を急ぐとともに、6月6日にはいち早く**大野知事に緊急対策を求める要望書を提出**。続いて6月21日には自民党県議団と自民党埼玉県連の連名で**農林水産省及び自民党本部を訪れ、降ひょう被害と高騰する配合飼料価格に対する支援について要望活動**を行いました。

▲ゴルフボール大のひょうが降り大きな被害となりました。

被災されました皆さまに心より お見舞い申し上げます。

▲大野知事に迅速な支援対策を求める要望書を提出する自民党県議団。知事からは、必要な対策を速やかに講じる考えが示されました。（写真撮影のため、一時的にマスクを外しています）

◀大野知事に被害状況について写真パネルを使い詳細な説明を　し、県の力強い支援をお願いしました。

これを受け、6月定例会において補正予算【第3号】8億7,450万8千円が提案され議決しました。熊谷市をはじめ被害の大きい11市7町を農業災害対策特別措置条例に基づく「特別災害」に指定するとともに、指定されなかった4市についても実質無利子で融資が受けられる「農業近代化資金」の対象となることが決まりました。さらに、被害を受けた農業施設の修繕や苗などの購入費を補助する予算も盛り込まれました。

私たち自民党県議団は地域の経済と人々の生活を守るため、今後も全力で働く所存です。

総務県民生活委員会 副委員長に就任。

総務県民生活委員会とは、県庁総務部、県民生活部及び人事委員会に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項を審査します。

「県行政を熊谷に分散移転」し県北の地盤沈下にストップ!

熊谷の皆さまに「県行政を熊谷に分散移転」をする夢を実現することを、ご提案して5年が経ちました。

議会において、この3年間2回にわたり一般質問をいたしました。

県内の大きすぎる南北格差を平均化する施策は様々ある筈です。私は県行政（県庁）の一部を熊谷に移転することが、熊谷市のみならず県北全体が元気になる必須条件と確信いたしております。実現に向けて誠心誠意努力いたします。